

授業科目

臨床神経学

担当教員名 (未定)	対象学年	2	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			○

授業の概要

本科目は前期に開講した『神経科学』を引き継ぐ科目である。前期の学習内容をもとに神経疾患の学習を進める。

授業の目的

臨床現場では、神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに、患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である。後者の学習のために、病態生理学、疾患各論と症候学、診察検査法等をできるだけ関連させて授業を進める。

学習目標

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と、臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	臨床症候群という考え方	(未定)
2	大脳基底核疾患	
3	筋疾患	
4	神経筋接合部疾患、末梢神経疾患	
5	神経根・脊髄疾患	
6	脳幹・脳神経疾患 (1)	
7	脳幹・脳神経疾患 (2)	
8	脳幹・脳神経疾患 (3)	
9	小脳疾患	
10	意識、覚醒、注意とその障害	
11	失語症	
12	その他の認知機能障害	
13	認知症	
14	その他の疾患	
15	まとめ	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	※担当教員により別途連絡					
参考書						
その他の資料						

評価方法

小テスト、レポート、最終テストによって評価する。

履修上の留意点

脳血管障害など『神経科学』で扱った疾患の一部は、授業の主題には含めないが、定期試験の出題範囲には含める。

オフィスアワー・連絡先

初回の授業にて担当教員より連絡